

# 高蔵寺 リ・ニュータウン通信

未来体験

高蔵寺ニュータウンで進む

自動運転の実証実験

平成28年3月に策定した高蔵寺リ・ニュータウン計画に基づき、高齢者を始めとした全ての住民の外出機会の増加、坂道などの地形的ハンデいの克服、子育て世代の定住促進、買い物等の移動手段の確保などを図るため、自動走行のデマンド交通システムや1人乗りのパーソナルモビリティなどの新たな交通手段の確保を目指し、各種実証実験を実施しています。



高蔵寺春日井「通風くん」

平成29年度には、トヨタ自動車との連携による**①歩行支援モビリティサービス実証実験**や、ニュータウン内において自動運転に必要となる高精度3Dマップを整備し、愛知県と連携した**②警察庁新ガイドライン対応遠隔型自動運転実証実験**、自動運転車両による外出や乗合乗車などを体験する**③自動運転デマンド交通実証実験**、名古屋大学COI（センター・オブ・イノベーション）との連携による**④ゆっくり自動運転(R)実証実験**を実施しました。

春日井広報大使の松村さんも試乗

## ① 歩行支援モビリティサービス実証実験

平成29年11月12日（日）、トヨタ自動車と連携して、歩行支援モビリティサービスの実証実験の無料体験試乗会をサンマルシェアピタ館西側テラスで開催しました。

一人乗りの乗り物であるWHILL株式会社の「WHILL（ウィル）Model A」と豊田鉄工株式会社の「COMOVE（コモビ）」の2種類を用意し、サンマルシェを訪れた30の方が試乗しました。体験試乗会に先立ち開催されたプレ走行会では、市長や春日井広報大使である松村亜矢子さんもWHILLに試乗し、走行性や機能、乗り心地の違いなどを体感しました。

実証実験は11月15日（水）から28日（火）までの2週間実施し、無料の乗車体験には339の方が参加しました。また、無料乗車体験者のうち68の方は、サンマルシェからUR藤山台管理サービス事務所までの1.2kmを乗車する有料体験（片道200円、往復500円）にも参加しました。



高蔵寺春日井「通風くん」



COMOVE（コモビ）



WHILL（ウィル）

裏面へつづく

運転席無人での右折や信号左折を実施

## ② 遠隔型自動運転システム

平成30年2月5日（月）、愛知県と連携し、外部から遠隔監視、操作する「遠隔型自動運転システム」を用いて、運転席が無人の車を春日井市保健センターから新池公園まで約1kmのコースを走らせる実証実験で、20人の市民モニターが試乗しました。運転席無人での自動運転による右折合流や信号認識による左折は全国初で、今後も技術の進歩に期待できそうです。

運転席無人での自動運転



自動運転車両でショッピング

## ③ 自動運転デマンド交通実証実験を実施



自動運転車両

平成30年2月24日（土）、名古屋大学COIや愛知県と連携し、自動運転デマンド交通実証実験を実施しました。押沢台地区内の市民モニター9組18人の方が参加し、自動運転車両をスマートフォンなどで呼び寄せ、自宅からサンマルシェのあるセンター地区までを自動運転車両で往復しました。センター地区では下車後、時間に余裕のある方は実際に買い物などもしていただき、再度自動運転車両に乗車して帰宅しました。



名大COIとの連携事業

## ④ 小型電気自動車(ヤマハカート)の自動運転公開実証を実施

平成30年3月5日（月）、ゆっくり自動運転(R)による移動サービスを想定した自動運転の実証実験を実施しました。電磁誘導線によらないカートの自動運転は全国初で、実験には名古屋大学COIが改造した小型電気自動車（ヤマハカート）にライダー（レーザー光線を使って物体を検知し距離を測定する装置）を搭載したものを使用しました。公開の公道実証実験では、石尾台地区の公共施設からスーパー「ナフコ石尾台店」までの住宅街約400mの間をヤマハカートが安定した走りで行き往復しました。



小型電気自動車

自動運転実証実験の参加者を対象としたアンケート調査では、高齢者の移動支援・代替交通手段などへの期待が大きく、自動運転が実現した社会の到来を賛成する人が大半を占めていることがわかりました。

平成30年度からは、市が名古屋大学COIに正式加入し、引き続き、住民の皆さんの外出支援を目的とした自動運転車両による実証実験などを進める予定です。

①から④までで紹介した先導的モビリティを活用した新たな移動サービスの実現により、坂道などの地形的ハンデの克服による外出機会の増加が期待できます。子育て世代など全ての住民の皆さんにとって住みやすい高蔵寺ニュータウンとなるよう、今後も先導的モビリティに関する取組を積極的に推進していきます。

